



富士通 NetCOBOL

ODBC 経由で Actian Zen のデータへのアクセスサンプル プログラム

2021年4月

株式会社エージーテック



富士通 NetCOBOL は COBOL プログラムに埋込み SQL を記述し、Actian Zen の ODBC ドライバを経由して Actian Zen データベースにアクセスすることをサポートしています。

詳細は『FUJITSU Software NetCOBOL ユーザーズガイド』の「15.2 ODBC 経由によるアクセス」を参照して下さい。

本サンプルプログラムでは、COBOL プログラム内の埋込み SQL を使用して、単純なインデックス付きの Actian Zen テーブルに数値、10 進数、テキストデータを挿入し、そのデータをインデックス順で富士通 COBOL 内に読み込んで表示します。

このサンプルプログラムを実行する準備として Zen Control Center 等で、データベースに対して次の SQL を実行する必要があります。

```
SET TRUENULLCREATE = OFF;  
CREATE TABLE "TEST" (  
    "mainkey" NUMERIC(5,0) NOT NULL,  
    "numericdata" NUMERIC(5,0) NOT NULL,  
    "comp3data" DECIMAL(5,0) NOT NULL,  
    "textdata" CHAR(50) NOT NULL);  
SET TRUENULLCREATE = ON;  
CREATE UNIQUE NOT MODIFIABLE INDEX "インデックス0" ON "TEST" ("mainkey");
```

また、プログラムを実行する前に ODBC 経由でアクセスするための COBOL 実行時の環境変数設定ファイル (COBOL85.CBR) に各プログラム毎に NetCOBOL 用の ODBC 設定ファイルの場所と名前を設定します。

例：

[ODBCDEMO]

@ODBC_inf=C:\NetCOBOL\DBMSACS.INF

上記で参照している ODBC 情報設定ファイル (DBMSACS.INF) は Fujitsu NetCOBOL 内に配布されている「ODBC 情報設定ツール」で作成されます。

詳細は『FUJITSU Software NetCOBOL ユーザーズガイド』の「15.2.8.2 ODBC情報設定ツールの使い方」を参照して下さい。

参考のため、今回のサンプルプログラムを実行するために弊社で使った COBOL85. CBR と DBMSACS. INF ファイルはサンプルプログラムの ZIP ファイルに含まれています。

※本書は情報提供のみを目的としており、本書の内容、提供のサンプルの使用において、明示的あるいは非明示的ないかなる保証もいたしません。

※著作権上の権利に限定されることなく、本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

※本書の内容は、2021 年 3 月現在のものです。また、予告なく変更する場合があります。

※NetCOBOL は富士通株式会社の登録商標です。

※Actian、Actian DataCloud、Actian DataConnect、Actian X、Avalanche、Versant、PSQL、Actian Zen、Actian Director、Actian Vector、DataFlow、Ingres、OpenROAD、および Vectorwise は、Actian Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。本資料で記載される、その他すべての商標、名称、サービス マークおよびロゴは、所有各社に属します。

(C) Copyright 2021 AG-TECH Corp. All rights reserved.

株式会社エージーテック

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 1-21-1 ヒューリック神田橋ビル 3F